



北条中 学校だより
令和5年度 第11号

よし かぜ
芳 風

校 訓：質実 自治 奉仕
教育目標：自由の相互承認
わたしの自由も大切にする
あなたの自由も大切にする

保護者配付 令和6年 2月29日
地域回覧 令和6年 3月 5日

クエスト（全校による総合的な学習の時間）総括

～多くの皆様の成果発表会へのご参加、ありがとうございました。～

【成果発表会】

2月14日（水）クエスト成果発表会を行いました。受付名簿上では、地域の皆様、保護者の皆様合わせ、37人の参加がありました。生徒は、そもそもなぜ、その追究活動を行おうとしたのか、何が分かったのか、何ができたのか、等について、ほとんどの班が画像、映像によるプレゼンテーションを取り入れ、自分たちの思いを伝えていました。

ビーチグラスによる小物、漂着物を使ったりリサイクル品の販売では、**総計 16,000 円**の売上がありました。集まったお金は、当該の班の人たちの了解のもと、日本赤十字社が行っている「令和6年能登半島地震災害による義援金」に全額寄付をさせていただきました。なお、併せて、令和4年度のクエスト成果発表会以降、購入いただいた本及び成果物の販売の売上金 **25,400 円**も同時に寄付させていただきました。



【学習を通して】

クエストの本格始動時と活動の間には「クエストの活動を通して期待すること」、成果発表会終了後には「クエストの活動を通してできたこと」について、生徒にアンケートを取りました。期待する9つの姿を設定し、複数選択を可として、選んでもらいました。

活動後のアンケートでは、よくできたことは、「楽しい活動をする。(29)」「仲間と協力してやり遂げることを体験する。(28)」「北条や柏崎のよいところを見つける、感じる。(19)」「普段行かないところへ行く(18)」でした。以下、「自分や同じグループの人のよいところを見つける。(14)」「北条や柏崎の知らないことを新しく知る。(12)」「地域の人からアドバイスを受ける。(11)」「同じグループの人の意見を聞きながら、自分で考え、自分で計画を立て、自分で行動する。(10)」「期日を守るなど、計画的に活動する。(8)」と続きました。（()内の数字は選択回答数）

クエストの活動の目的は、本年度の重点目標「自律心・自己肯定感・変化に対応する力を育てる」とつながっています。従来の学習活動では、つながることのない人、場所、ものに向き合い、北条、そして柏崎の魅力をどう見付け、発信していくかがテーマでした。その問いに向き合うことで、北条が好きになり、自分のよさに気付いて、明日の北条を元気づける一員へと育っていていることを頼もしく思います。

3 月 の 主 な 予 定

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4 祝 第77回卒業証書 授与式	5	6 2年生修学旅行 県立高校一般 入試	7	8 →	9	10
11	12 確認テスト (1・2年)	13	14	15	16	17
18 専門委員会	19	20 春分の日	21	22 後期終業式	23	24
25 離任式	26	27	28	29	30	31

◆活躍の軌跡◆

(敬称略)

○柏刈小中学校書初席書大会 柏崎市長賞

○柏崎文化協会主催 市民文芸作品公募

・俳句の部 特選 、特選

・短歌の部 入選

○よい歯の学校運動 優秀校

※「よい歯の学校」は、昨年に続いての2年連続受賞でした。「健全歯率」が、市内で1番ということで、表彰いただきました。6月に行った口腔衛生教室の取組をはじめ、食に関する活動、家庭での取組など、様々な要因が重なったのだと思います。これからも歯の健康を守っていきたいです。

◆ 義務教育に思う ◆

義務教育9年間をしめくくる卒業式が3月4日(月)に行われます。(地域の皆様が回覧でこのたよりを読んでいただける時には、すでに卒業式は終わっています。)

義務教育は、学齢期の子どもに教育を受ける権利を与えるとともに、その保護者及び国、自治体に教育を受ける環境を整える責務を負わせるものです。保護者が自分の子どもに「学校へ行かずに、家の手伝いをしなさい」と言った時代があり、普通教育を受けたくても、受けることができなかった子どもの権利を保障するためにできている制度です。

先日、ウクライナの地下鉄の構内に教室を作ったというニュースを見ました。1月1日の地震で、何とか学習を保障しようと、中学生が集団で避難したという報道もありました。現在も避難は続いています。いずれも子どもたちの教育を何とか保障しようとする動きです。そこには、いろいろな人の温かい思いとともに、そのような環境を選んだ、または、選ばざるを得なかった子どもたちの切実な思いが詰まっていると考えます。

子どもたちが、普通教育を受けることは、当たり前でできそうで、もしかしたら、当たり前ではない状況もあります。自分がもし、「教育を受けているのは当たり前」と思える環境にいるならば、そのために懸命に環境を整えている人々に感謝できる人に育ってほしいですし、そんな感謝の念が心の中にたまっていく教育を重ねていかなければと改めて決意します。 (校長)